

江南市総合計画市民会議 議事要旨 (第1回 第3分科会 (行政分野))

日 時 令和5年12月1日(金) 9:30~11:45
会 場 江南市役所 防災センター研修室2
出席者 出席委員8名

■委員

《会長》	吉田 勝好	スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社
《副会長》	中村 健一	公募市民
	谷口 郁子	公募市民
	早瀬 裕子	公募市民
	土肥 浩子	有限会社尾北ホームニュース 編集チーフ
	渡邊 葉月	江南金融協会 (愛知銀行江南支店)
	今枝 直之	江南市総合計画策定部会 (行政分野) 部会長
	矢橋 尚子	江南市総合計画策定部会 (行政分野) 副部会長

■傍聴者

なし

◆議題

- 1 自己紹介
- 2 市民会議 (分科会) の進め方
- 3 会長・副会長の選出
- 4 議題
 - (1) 前期基本計画の進捗状況について
 - (2) 後期基本計画 (分野別計画) (案) について
- 5 その他

<配付資料>

- 資料1 江南市総合計画市民会議委員名簿【分科会】
- 資料2 江南市総合計画市民会議設置要綱
- 資料3 第6次江南市総合計画後期基本計画の概要
- 資料4-1 江南市総合計画市民会議について【概要】
- 資料4-2 市民会議のスケジュールについて
- 資料4-3 市民会議 (分科会) の進め方
- 資料5 前期基本計画の成果と課題
- 資料6 第6次江南市総合計画後期基本計画に係る市民満足度調査報告書
- 資料7 第6次江南市総合計画基本計画 (分野別計画) (案)
- 資料8 第6次江南市総合計画・第6次江南市総合計画 (概要版)

◆会議結果

1 開会

市長より挨拶

2 自己紹介

各委員から自己紹介

3 市民会議（分科会）の進め方

資料3、4について事務局より説明

4 会長・副会長の選出

江南市総合計画市民会議設置要綱に基づき、委員の互選により吉田勝好氏が会長に選出され、会長の指名により中村健一氏が副会長に選出されました。

5 議題

(1) 前期基本計画の進捗状況について

(事務局) ～ 資料5、6、8について事務局より説明 ～

(委員) 資料5の個別目標達成件数（平均達成率）というのはどのように算出しているのか。

(事務局) 柱1で説明します。資料8の129ページをご覧くださいと、柱1の個別目標は2つ設定しており、このうち、ホームページのアクセス件数のみ達成しているため、達成件数は1/2となっています。続いて、資料7の4ページをご覧くださいと、ホームページのアクセス件数は、998,000件の目標値に対して、1,834,938件の実績値となっています。地域コミュニティの団体数は、586件の目標値に対して、445件の実績値となっています。それぞれの達成率を平均すると、平均達成率は130.0%となります。

(委員) 全体目標と個別目標の関連性はどのように認識しておくべきか。

(事務局) 全体目標は、市民満足度調査の結果であるため、市民の感じている率が表れています。一方で、個別目標は行政側の取組率を表しているため、それぞれの達成率に乖離があります。

(2) 後期基本計画（分野別計画）（案）について

(事務局) ～ 資料7について事務局より説明 ～

(会長) 柱ごとに事務局から変更点を説明していただき、委員からご意見をいただく形とする。最初に、「柱1市民協働」について、何かご意見はありませんか。

(委員) P4、個別目標②について、若い年代に焦点を当てると、ホームページのアクセス件数というのが指標として正しいのか。

(委員) P4、個別目標①、②について、ともに件数を指標として設定しているが、中身や市民の意識も大切であると考えられるため、その観点で数値化できるものがあるならば、それを指標として設定してはどうか。

(委員) 地域コミュニティの団体数は基準値である502団体から令和4年度は445団体に減っているがなぜか。

(委員) ほとんどは老人クラブの減である。

(委員) トコトコラボに地域交流センターが出来たが、市と地域交流センターの協働という観点からも目標があってもよいのではないか。

(委員) 市民活動やボランティア、企業への情報発信方法や繋ぎ方をこれから色々と模索していく段

- 階であるため、それを指標にすることは難しい。したがって、団体数を指標として設定している。
- (委員) 若い方は、普段、市のホームページを見たりするか。
- (委員) 市のホームページを見ても難しいことが多いので、SNS から情報収集する方が多い。
- (委員) 分かりやすいところだと、SNS のフォロワー数などを指標として設定するのもよいのではないかな。
- (委員) SNS の件数は、事務事業評価の指標として設定している。
- (委員) 普段、市民団体として活動されている方は地域コミュニティの団体数の指標をどう思うか。
- (委員) 私の世代で市民活動をやっている人は少ない。地域交流センターが市民団体と関係課を繋ぐ窓口になることを期待する。
- (委員) それが実現すれば、団体数の増加にも繋がるのが考えられる。そういう意味では、現在の指標は正しい。
- (委員) 自分で興して活動している市民活動団体と子ども会を地域コミュニティの団体数として一緒にしているが、どうなのか。
- (委員) 老人クラブや子ども会の数が徐々に減ってきているが、地域のサロンなど、別の形で動いているのではないかと考えられる。
- (委員) 地域コミュニティの団体数については、地域の団体と自ら興した団体とで分けて指標を設定し、地域交流センターの相談件数も指標として設定するとよいのではないかな。また、地域のサロンの数は把握しているのか。
- (委員) サロンの数は把握しているが、地域コミュニティの団体数には入っていない。
- (委員) 個別目標②について、柱8の議会中継にも関係するが、YouTube の活用も視野に入れていくべきではないかな。また、防災行政無線の活用について、子機を全家庭に設置して行政情報を毎日届けるとよいのではないかな。
- (委員) 大口町にも防災行政無線があるが、子機の設置は選択制となっている。
- (委員) 名古屋市は、ホームページや SNS、アプリを活用している一方、スマホを持っていない方向けに、有料にはなるが防災ラジオで個別に対応している。
- (委員) 個別目標①については、地域交流センターの相談件数という指標の設定はできるのかな。
- (委員) 相談にも様々な形態があり、何をもって1件とするのか判断に迷うため、目標値の設定も難しい。
- (委員) 地域コミュニティの団体数という指標は継続する一方、地域交流センターを開設したことをきっかけに、主観的でも相談件数をカウントし、次期計画に向けて新たな指標として設定すべきではないかな。
- (会長) まとめると、個別目標①については、現在の指標は継続しつつ、今回出てきた意見を次期計画に盛り込んでいただく方向でご検討いただきたい。個別目標②についても、現在の指標を継続しつつ、今回出てきた意見を次期計画に盛り込んでいただく方向でご検討いただきたい。次に、「柱2政策・人事」について、何かご意見はありませんか。
- (委員) 個別目標③のデジタル技術を活用した市民サービスの向上が十分に実施されていると感じる市民の割合について、便利になったと感じる職員の割合も重要ではないかな。また、ネットワーク停止時間については、停止しても市民に影響が少ない部分もあると考えられるため、無理に0時間に設定しなくてもよいのではないかな。
- (委員) 市役所内だけではなかなか業務改善は進まないため、職員の他市町への研修参加回数も指標に入れてはどうか。また、ボトムアップの業務改善提案なども指標として設定してはどうか。
- (委員) チャット GPT の活用も視野に入れるとよいのではないかな。
- (委員) デジタル技術の活用については、まだ導入し始めたばかりのため、指標として設定するのは難しい。

- (委員) デジタル関係の研修などは行っているのか。
- (委員) チャット GPT の研修は庁内でも実施している。デジタルに限らず、他市町に行って研修を受けることもあるが、最近はインターネットで調べれば分かる情報も多いため、現地まで行くことは少なくなっている。研修参加回数はカウントできると思うが、現地に行った回数となると、研修以外の目的もあるため把握しにくいと感じる。
- (委員) 業務改善提案はどうか。
- (委員) 昔は、業務改善提案としてプレゼンなどもあったが、今は一旦区切りを付けたところだと認識している。
- (委員) 人材育成事業が市民協働のモデルに上がっているが違和感がある。DX に関して企業と連携協定を締結し、協働で職員研修を実施したなどの実績があれば、その方がよいのではないか。
- (委員) 企業との協定で多いのは災害協定である。
- (委員) 市民向けの協働は多いが、職員向けの協働はあまりない。
- (委員) 協定締結先の企業と、人材交流などは行っていないのか。
- (委員) 行っていない。
- (委員) 他団体との協働として、民間企業や国、県との人事交流などを入れてもよいのではないか。

6 その他

次回以降会議日程について

- (事務局) 次回第2回分科会は、12月22日(金)午後2時から防災センター研修室3で開催します。事前に開催通知と事前配付資料があれば送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

7 閉会

会長より挨拶

以上